

大阪大学消化器外科スタッフ



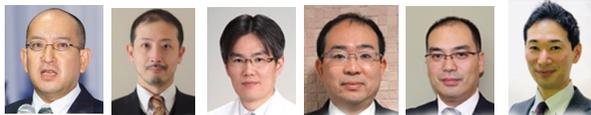
土岐祐一郎



江口英利

外来担当表

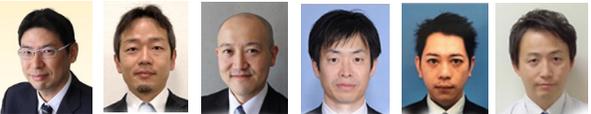
教授	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
上部消化管	黒川高橋山下	黒川 萩	西塔	西塔	和田 田中	黒川 田中	中島 高橋	中島 高橋	牧野 百瀬 萩	牧野 山下 百瀬
下部消化管	萩野 浜部	三吉 竹田	関戸	萩野 山本	三吉	関戸	浜部	榎村	榎村 波多	波多 竹田
肝臓腸	山田 佐々木	山田 佐々木	小林 秋田	小林 秋田	小林 梅下	野田 佐々木	富丸	富丸	野田 長谷川 北川	野田 長谷川
化学療法	和田	和田	佐藤	佐藤	佐藤 西田		西田	西田	西田	西田



佐藤太郎 小林省吾 黒川幸典 高橋剛 野田剛弘 榎村守



西田尚弘 萩野知紀 秋田裕史 三吉範克 富丸慶人 田中晃司



萩野崇之 山田大作 西塔拓郎 浜部敬史 長谷川慎一郎 山下公太郎



和田範子 波多豪 百瀬深太 佐々木一樹 関戸悠紀 竹田充伸 萩藤臣

● 交通手段

電車

阪急電車千里線「北千里駅」(終点)下車 徒歩約25分

モノレール

大阪モノレール「阪大病院前」下車

バス

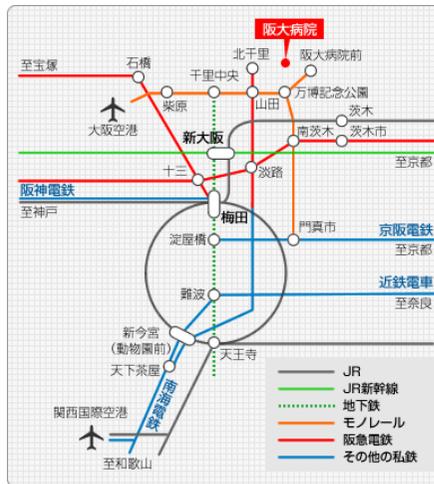
阪急バス

千里中央発「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行」

近鉄バス

阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(JR茨木駅経由)

いずれも、阪大医学部前または阪大本部下車



連絡先

大阪大学医学部消化器外科学

<http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/gesurg/>

Tel: 06-6879-3251

* 初診予約の事務手続きは

患者包括サポートセンター

<https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/institution/apply.html>

TEL 06-6879-5080 (医療機関専用直通番号)

※患者さんから直接の連絡はできません

受付時間 月～金 9:00～17:00 (休日、年末年始は除く)

大阪大学 消化器外科

「患者さんのために 確かな技術と安心を」

- 最先端の医療技術で、一步先を行く治療をお届けします。
- 腹腔鏡手術やロボット支援手術を通じて、患者さんに優しい低侵襲治療を実現しています。

ミッション

病める人に寄り添い、
託された命を守り切ることが
メスを持つ我々の使命です

行動指針

技術と知識を磨き、現代医療の最後の砦になります
新しい科学、新しい医療、新しい手術を創出します
外科医の絆を大切に、社会に貢献します



—— 最先端へ

上部消化管

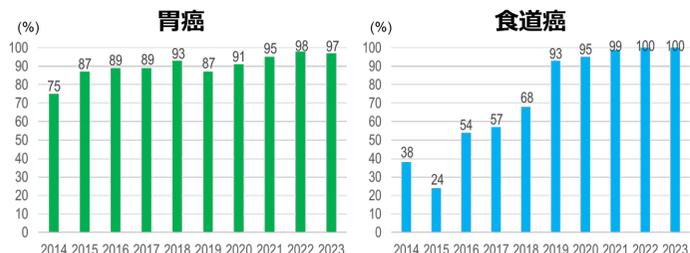
「胃癌に対するロボット・腹腔鏡手術の日本のパイオニア」
 大阪大学では、胃癌に対する腹腔鏡手術を1997年より、ロボット手術を2013年より開始し、わが国における胃癌の低侵襲手術を牽引してきました。現在では、胃癌手術のほぼ全例をロボットもしくは腹腔鏡で実施しております。また大阪大学では、臓器をできるだけ温存して術後のQOLを維持することを優先しており、近年の胃癌手術に占める胃全摘の割合は1割以下となっています。

「日本を代表する高度局所進行食道癌手術実績」
 大阪大学では、他の施設では手術できないような高度局所進行食道癌の外科治療においてわが国を牽引してきました。さらに、こういった高度局所進行食道癌に対してもロボット・胸腔鏡手術による低侵襲手術で根治を目指すように努めています。また、遠隔転移を有する食道癌に対しても積極的に免疫療法を含む集学的治療を行って根治を目指しており、進行食道癌患者の“最後の砦”としてあきらめない治療をいつも心がけています。

「機能性疾患・病的肥満症などの良性疾患にも対応」
 食道裂孔ヘルニアやアカラシアなどの機能性食道疾患などに対しては、食道内圧測定や24時間pH、インピーダンス検査など専門的な検査を行い、治療を実施しています。また日本でも数少ない肥満症外科手術認定施設として、内科と密に連携して外科手術を含めた総合的な肥満症治療を行っています。



低侵襲手術施行率の年次推移



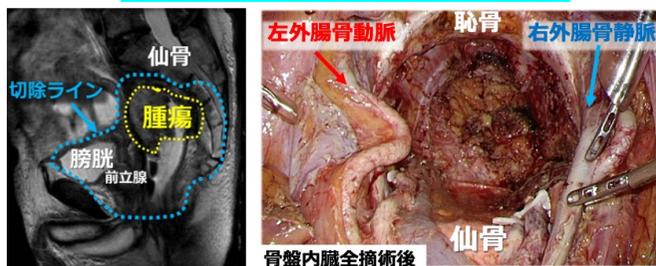
下部消化管

「国内屈指の技術で、進行大腸癌にも低侵襲アプローチを」
 大阪大学は、国内でも早期から腹腔鏡手術、ロボット手術を導入し、現在では進行した大腸癌を含むほとんどの症例で腹腔鏡手術、ロボット手術を行っています。特に、局所進行直腸癌や再発直腸癌に対する骨盤内臓全摘術などの高難度手術にも、低侵襲なアプローチを提供。これにより、患者さんの回復も早まり、QOL(生活の質)向上にも貢献しています。

「さらなる低侵襲を目指して - 多臓器合併切除や経肛門手術」
 進行した直腸癌に対しては、術前化学療法や放射線療法と手術を組み合わせた集学的治療を提供し、機能温存(肛門・排尿・性機能)と根治性を両立しています。早期直腸癌には特殊な器具を肛門から挿入し、腫瘍を局所切除する経肛門の手術も導入しています。進行癌から早期癌まで、患者さんに最適な選択肢を提供します。

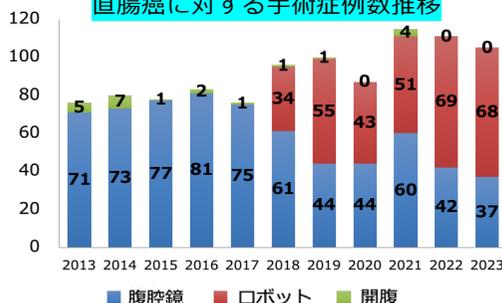
「重症炎症性腸疾患の外科治療も消化器内科と連携し対応」
 重症の炎症性腸疾患に対しても消化器内科と密接に連携し、積極的な治療を実施しています。個々の患者さんに合わせた包括的医療を心がけ、治療効果とQOLを最大化することを目指しています。

局所進行直腸癌症例に対する低侵襲手術



多臓器合併切除例も低侵襲手術によって無輸血で安全に手術を完遂しています

直腸癌に対する手術症例数推移



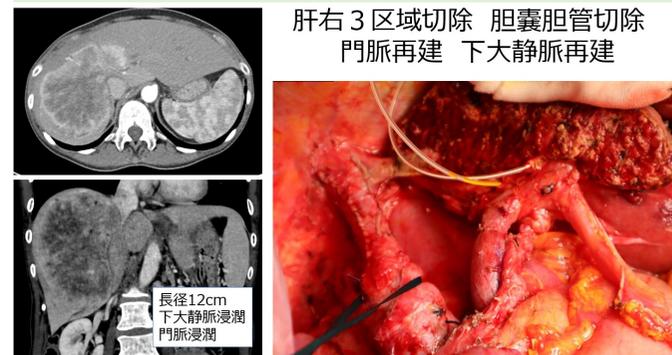
肝胆膵・移植

「肝胆膵領域の低侵襲手術をリード - 大阪大学の挑戦」
 大阪大学は、肝胆膵領域の低侵襲手術(腹腔鏡・ロボット)に早くから取り組み、保険診療内はすべて対応可能で、保険診療外も適宜対応しています。近年では7cmを超える膵腫瘍に対しても腹腔鏡下手術を適応しています。これからも、患者さんへの負担を抑えた治療を提供していきます。

「難治性胆道癌・膵癌への挑戦 - 術前薬物療法と集学的治療」
 血管浸潤やリンパ節転移がある胆道癌・膵癌に、術前薬物療法を組み合わせた集学的治療を実施。オンコロジーイマジンジェンシールと呼ばれる閉塞性黄疸、巨大肝癌、腫瘍栓肝癌に対しても迅速に対応します。

「豊富な実績を持つ肝臓・膵臓移植 - 国内屈指の症例数」
 これまで30例以上の脳死肝移植、150例以上の成人生体部分肝移植、60例以上の脳死膵臓移植を實踐。近年はドナー手術も腹腔鏡下です。慢性肝不全はもちろん、急性肝不全など速やかに対応しています。

高度進行肝内胆管癌に対する薬物療法後の拡大手術



肝胆膵・移植グループにおける低侵襲手術(腹腔鏡下、ロボット手術)の推移

